



社会福祉法人武藏野

30歳

【ひろがれ、かななれ、むさしののわ】

2023
第 59 号



特集
法人設立30周年を迎えて
これからも
「つながり、豊かに」



笑門来福

たくさんの笑顔とともに

塩崎 嘉子

松村 佳子

素敵なことの共有

地域の中での就労相談

●トピック
パイプオルガン体験に行つてきました

えすぶれっそ

法人設立30周年を迎えて



これからも 「つながり、豊かに」

社会福祉法人武蔵野は、令和4年3月27日に設立30周年を迎えることができました。今まで事業を続けることができたのは、ご利用者やご家族、武蔵野市はじめ関係機関や団体、地域住民の皆さまのご理解とご支援の賜物と感謝申し上げます。

この10年間で、福祉ニーズは多様化・複雑化し、社会福祉をとりまく制度や環境は大きく変化してきました。当法人においても新規施設の開設や、既存事業の機能強化に取り組んだ期間でもありました。本特集では30周年記念号とし、これまでの法人の歩みを振り返ります。



30周年記念式典の様子

記念式典に引き続き、実践発表会を併せて行いました。この発表会は「職員の支援の質を高め、地域の福祉力のすそ野を広

く人の輪」では、20周年式典以降に開始した11事業を中心紹介し、当法人の今日までの歩みをご列席の皆さんと振り返るとともに、次の10年に向けて決意を新たにしました。

これからも職員一同、福祉の専門性を高める努力を続け、地域社会におけるさまざまな課題に向き合ってまいります。そして、誰もが生き生きと活動できる「福祉のまちづくり」の一翼を担う組織を目指して、行政や地域の皆さんと連携し、日々の実践に取り組んでまいりたいと思います。

玲子武蔵野市長、土屋美恵子武蔵野市議会議長よりご祝辞をいただきました。

スライド上映「つながる」との輪」では、20周年式典以降に開始した11事業を中心に紹介し、当法人の今日までの歩みをご列席の皆さんと振り返るとともに、次の10年に向けて決意を新たにしました。

つむぐとで制作した看板と記念品



社会福祉法人武藏野 設立30周年に寄せて

お祝いの言葉

武藏野市長 ● 松下 玲子 様



あつたかまつりにお越しいただき、参加者の方と懇談中の松下市長

まさに法人の歩みを表している、素晴らしい意匠ではないでしょうか。この決意表明のとおりにご利用者と共に歩まれてきた30年であると深い敬意を表します。

今では、貴法人は障害者福祉分野・高齢者福祉分野を軸に22施設、43事業を展開され、本市の福祉のパイオニアかつ中心的な役割を果たしていただいている。

1992（平成4）年に設立された社会福祉法人武藏野が、30周年を迎えたことを心からお祝い申し上げます。

改めてこれまでの歩みに目をとおしていると社会福祉法人武藏野のロゴマークについての資料が目に留まりました。「緑の地に手をつなぐふたりの人でMの頭文字があらわされている様子は、「地域社会に役立つ」という法人理念のもと、みどり溢れる武藏野の地に市民と行政、法人が手をつなぎ前に向かって進む」という法人の決意表明である」とあります。

もう一つの視点

社会福祉法人武藏野 前理事長 ● 安藤 真洋 様

お祝いの言葉



安藤様（右）にも昨年のあつたかまつりにお越しいただきました。渡邊理事長（左）との一場面

え合うことが求められます。法人はその動きを作る主体のひとつになれるようもっと自覚的にならねばと、その後私は胸に刻みました。このような指摘などで気づいたことを肥やしにし、法人は少しずつ活動を広げていきます。さまざまな声をどう自分たちの力にしていくのか、私たちはいつも問われています。

数学者の森田真生氏は「他者を排除するのでも、ただ服従するのではなく、他者に耳を傾け、つき合っていくこと。自分でないものと共存しながら、それでいて一体化してしまわない」姿勢が大事だと言います（「僕たちはどう生きるか」集英社、2021年）。

末筆ではございますが、社会福祉法人武藏野のさらなるご発展と関係者の皆様方のご活躍を祈念いたしまして、

法人設立30周年に寄せる祝辞とさせていただきます。

地域とは障害のある人や介護を要する人を含んでのものであり、相互に支





北町ほっと館：1階ワークステージりっぷるでは、日中ご利用者が元気いっぱい働いています。上階きたまちハウスは、入居者の充実した暮らしを支えるグループホームです。「働く場」と「暮らす場」、両機能を持つ複合施設です。



ジョブアシストいんくる：企業就労へのステップとしての役割を担います。企業への就職を目指す方に向け、パソコン・ビジネスマナー等の講座、事務・清掃・封入・梱包等の作業練習の機会を提供しています。

社会福祉法人武藏野の歩み

広報紙「ぶれっそ」では第16号（平成24年5月発行）の「20周年記念事業特集」にて、法人設立からの20年間の歴史を取り上げました。それから10年以上が経ち、法人の事業もさらに広がりました。今号では20周年から30周年までの期間における主な動きをご紹介します。

2015

2014

2013

2012

平成27年4月
平成27年3月

「グループホームくすの木」開設 定員13名（男性）
「ジョブアシストいんくる」にて「生活困窮者就労準備支援事業」受託開始

平成26年4月

「きたまちハウスショートステイ」事業開始
1階に「ワークステージりっぷる（就労支援継続B型施設）」開設

「さくらごはん」を武藏野市役所8階にて開始

平成25年6月
平成25年12月

「ジョブアシストいんくる（就労移行支援事業）」を開設
「北町ほっと館」開設 「きたまちハウス（グループホーム）」を開設

事業名「居住支援ユニットリエゾン（グループホーム統合事業）」事業開始

平成24年4月
平成24年6月

「トイズが児童デイサービスから「児童発達支援事業」となる
法人設立20周年記念事業（式典・感謝祭・記念講演）をスイングビルにおいて行う



武藏野市障害者福祉センター：指定管理者として、障害者福祉サービス、施設の管理維持、講習会、通所移送事業などを一体的に運営しています。PT・OT・ST・看護師・福祉職等が所属し、多角的なアプローチに基づく支援を行います。



さくらごはん：市庁舎8階レストラン。障害のある方の就労の場でもあります。友好都市の食材を使用したメニューも名物です。当法人はコロナ禍においても感染症対策を講じ、ベーカリーやレストラン・カフェなどの複数の飲食事業に取り組んでいます。





つむぐと：「はたらく・つたえる・つながる」をコンセプトとしたものづくりブランド。三鷹駅近くの店内には1点モノの作品が並びます。ご利用者お一人おひとりの感性やチャレンジの中から生まれた作品を多くの方に届けたいと思っています。



わくらす武藏野：武藏野市で初めての入所型施設です。「わたしらしく武藏野でくらす」が名前の由来。最も重要な役割のひとつである「親なき後も重度の障害があっても、住み慣れた地域で安心して生活していく場所」であることを目指しています。

2022	2021	2020	2019	2017
令和4年3月 法人設立30周年 おいて行つ	令和3年3月 「グループホームかしの木 北館・南館」開設 定員20名(女性) 第五期中期基本計画を策定 第4代理事長に渡邊昭浩が就任 RENGA 収益事業を開始	令和2年4月 「武藏野市児童発達支援センター（みどりのこども館）」事業開始 令和2年12月 「武藏野市放課後等デイサービスパレット」開設 (武藏野市指定管理委託)	平成31年3月 「障害者地域生活支援ステーションわくらす武藏野」開設 令和元年9月 法人内の創作活動のブランドを「つむぐと」に統一してリスタート	平成29年4月 「武藏野市障害者福祉センター事業」開始 (武藏野市指定管理委託)



武藏野市放課後等デイサービスパレット：お子たちが放課後安心して過ごせる居場所となることを目指しスタートしました。6歳から18歳までの身体障害児または医療的な生活援助や配慮を必要とするお子さんの自由遊びや個別プログラムを行います。

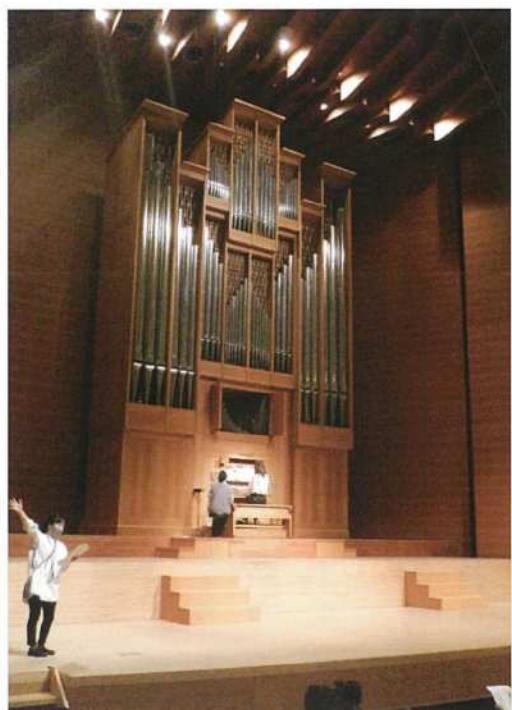


武藏野市立みどりのこども館：令和2年より児童発達支援センター事業開始。児童発達支援（通園）事業、発達に関する相談、施設への援助・助言を行うなど、地域療育の中核機関として地域全体でより良い支援が出来るよう事業を進めています。



パイプオルガン体験に行つてきました

→地図
P.8-A



市民文化会館のパイプオルガンは、見た目も音もとても大きく迫力です

へお出かけしました。ご希望のご家族も一緒に。馴染みのない場所に来たことで、最初は緊張がうかがえるお子さんもいましたが、奏者の方に「ウイズのみんなが大好きな『カレンダーマーチ』や『ミックスジャズ』の曲を弾いていただけと、安心したのか笑顔も増え、歌ったり、踊ったりしてリラックスして参加できました。いつも元気で快活なこの2曲も、優しく穏やかな雰囲気に感じられ、音の響きが変わると曲の印象が大きく変わる」と驚きます。童謡だけでなく、オル

ガンの曲も弾いていただき、プロの奏者の方が奏でる音楽の世界を味わうことができました。

実際に自分で触れられる体験の時間では、たくさんの鍵盤やボタン、レバーなどに興味を引かれているお子さんが多く、中には楽器の形状を「口ボットみたい」と表現するお子さん

(通園部ウイズ 木村 清香)

みどりのこども館通園部ウイズは、心身の発達に気がかりなところがある3歳児～就学前までのお子さんを対象とした児童発達支援事業所です。保育スタッフを中心に、個や集団に応じた活動プログラムや生活動作の練習などを行なっています。

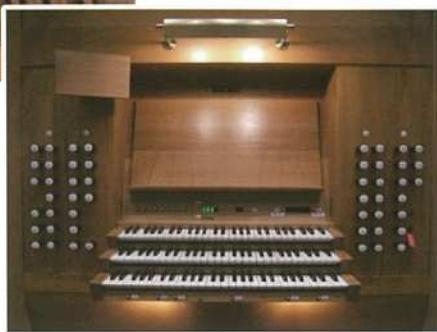
昨年度から、公益財団法人武蔵野文化生涯学習事業団の事業の一環として、市民文化会館の小ホールにてパイ

オルガン芸術振興会／共催・公益財団法人武蔵野文化生涯学習事業団で行っていставлен（主催：一般社団法人オルガニスト奏者によるパフォーマンス）。オルガニスト奏者の方によるパフォーマンス）。

いています（主催：一般社団法人オルガニスト奏者によるパフォーマンス）。オルガニスト奏者の方によるパフォーマンス）。



鍵盤だけでなく、ペダルやボタンがいっぱいです



えすぶれつそ

ちょっとひといき♪ 心がほっと温まるスタッフの日常をお届け♪

地域の中での就労相談

武藏野市障害者就労支援センターあいる

松村 佳子

→地図
P.8-B



面談でご本人の気持ちをくみ取ります

いるは、武藏野市内にお住い的一般就労を希望する障害のある方（もしくは障害があると思われる方）と、障害のある方を雇用したい（している）企業との両方の支援をしています。前の配属先で特別支援学校の実習時から一緒に作業をした方が、5年後に

企業就労を希望し、就労から定着までの支援を異動先のあいるでさせていたしました。その方にあった環境と支

援（指導）があれば、その人なりのスピードで成長し、社会で活躍していくと確信できた経験でした。

あいるには、日々さまざまなルートで支援の要請が寄せられます。相手の「ご希望をよく聞き、どのようなことが必要かを考え、相談者と一緒に話し合ひながら進めていますが、いつもポケットにエンパワメントの言葉を入れて支援しています。

企業就労を希望される方、企業で働くことを希望される方などさまざまですが、企業で働くことは、楽しいこと嬉しいことばかりではなく、ときには大変なこともあります。そんな困難なときにおいても、納得して自分で決めて動かされた方は、最後に大きく成長した姿を見せてくださいます。

これからも、お一人おひとりの「企業で働きながら、武藏野市で生き生きと暮らす」の実現のため研鑽してまいります。

素敵なことの共有

わくらす武藏野

塩崎 嘉子

→地図
P.8-C

わくらすの支援記録には「ホツトスマイル」という項目があります。「ご利用者の素敵なおピソードや嬉しかったこと、心が「ホツト」温まり、思わず「笑顔（スマイル）」になるエピソードを記録に残し、スタッフ間で共有しています。

私が最近発見した「ホツトスマイル」をご紹介します。利用者Aさんには、毎朝ゴミ捨てを手伝つてもらつています。

わくらすは入所施設のため、普段はご家族と離れて生活をしていらっしゃいます。ご利用者が楽しんでいたことや嬉しかったことなどの「ホツトスマイル」をご家族にお話しするようにしています。

素敵なおピソードは周りを笑顔にする力があります。他のスタッフの「ホツトスマイル」に大切なことを気づかされることもあります。今後もご利用者の素敵なおピソードを見つけていきたいです。



Aさんと散歩活動中の塩崎職員

笑門来福

たくさんの笑顔とともに



春はあけぼの。やうやう白くなりゆく山際、少し明かりて、紫だちたる雲の細くたなびきたる……。

平安時代の作家・歌人、清少納言の隨筆『枕草子』の出だし部分で、「春はほのぼのと夜が明けはじめるころがよい」との意味です。その後に、「夏は夜」「秋は夕暮れ」「冬はつとめて」と、季節の情景や風物詩を述べています。現代のエッセーですね。

そもそも「春」とはいつなのでしょうか。暦のうえでは、立春から立夏の前日（2月4日から5月5日）まで、気象学的には3月から5月、天文學的には春分から夏至の前日（3月21日から6月20日）まで、年度による区分では4月から6月とされています。

実生活のさまざまな状況に応じて使い分けており、日本人の物事を受け入れる柔軟性や大らかさ、感性に改めて気づかされます。

さて、法人の各事業所においては、昨年の12月はお楽しみ会、年が明けて事業が再開すると「新年会」や「成人を祝う会」などを、工夫を凝らし

て実施しました。

ご利用者にとって人生に一度きりのイベントに立ち会えることは、支援者側としても喜ばしい限りです。

2月は「豆まき」、3月には「ひなまつり」などのお楽しみも待っています。

「ネコの日（2月22日）」や「富士山の日（2月23日）」という記念日もあるのですね。

今年の春も、新しい笑顔、たくさんの笑顔と出会える「春」であることを期待しています。

特集記事のとおり、昨年の11月に法人設立30周年記念式典を挙行いたしました。

併せて第13回実践発表会を開催し、法人内4事業所の取組みを紹介しました。

30周年記念誌を含め、これら30周年記念事業に関わった職員たちにとって、貴重な経験になったことと思います。

法人は「地域社会に役立つ」の理念のもと、次の10年に向けて精進してまいりますので、引き続き温かい励ましとご支援のほど、よろしくお願ひ申し上げます。

（理事長 渡邊 昭浩）



社会福祉法人 武藏野 案内図

各施設は、

- 児童サービス
- 障害者サービス
- 高齢者サービス

に色・書体分けしています。また、Ⓐ～Ⓑは本誌に記事を掲載している施設です。

武藏野市桜堤ケアハウス

- 軽費老人ホーム
- 在宅介護・地域包括支援センター
- 放課後等デイサービスパレット
- ハピットサテライト

武藏野市立みどりのこども館
Ⓐ ウィズ ハピット
おもちゃのぐるりん

武藏野市役所
さくらごはん
カフェ・ル・ブレ
Ⓑ わくらす武藏野
なごみの家

武藏野障害者総合センター
ワークセンターけやき
ワークセンター大地
デイセンター山びこ
デイセンターふれあい
地域生活支援センターびーと
パールブーケ

かしの木
せきまえハウス

北町ほっと館
きたまちハウス
りぶる
武藏野福祉作業所
やさい食堂七福

ゆとりえ
特別養護老人ホーム
デイサービスセンター
在宅介護・地域包括支援センター
ゆとりえキッチン

武藏野市障害者福祉センター
すばる
ほくと（ゆいと）

中央図書館
市民文化会館

くすの木
Ⓐ あいる

三鷹駅
吉祥寺駅
井の頭通り
五日市街道
川越街道
JR中央線

ワークセンターけやき
(西久保オフィス)

ジョブアシストいんくる
つかむぐと

編集後記

編集委員としても、「ぶれっそ」が地域の皆さんと法人とのコミュニケーションの橋渡し役となれるよう、これからも法人の取り組みについての発信を続けてまいります。（い）